

2025年 若松倫夫の植物画カレンダー 絵のコメント

表紙 バラ・ガーデンパーティー

バラ科 [Rosa Garden Party] F4 水彩画教室でぼかしを生かした透明水彩画を講習するために、題材として描きました。2011.6.7に神代植物公園で撮った数枚の写真をもとに。

1月 ロウバイ

ロウバイ科 [Chimonanthus praecox・forma concolor] F4 公園でしか見かけなかったこの花を、講習会の生徒さんが提供してくださり、じっくりと描いてみるチャンスに恵まれました。その後描いた2枚の絵を組み合わせる。

2月 フキノトウ

キク科 [Petasites japonicus] F2 植物画教室の席で描いた絵。皆さんが集まれるまでに急ぎ鉛筆スケッチ、講習のなかで彩色のデモを行い、その後、皆さんが描いておられる間に仕上げしました。その後描いた絵2枚も。

3月 クマガイザクラ

バラ科 [Cerasus serrulata 'Kumagai'] B6 . 結城農場で弟・素明が2020.3.27に撮影。『新・日本の桜』山と溪谷社刊によれば、「小彼岸桜の、花が小さくて八重咲のもの。ほかの桜に先駆けて咲くので、一ノ谷の合戦で先駆けをした熊谷直実にちなんでこの名がある」

4月 ジンダイアケボノ

バラ科 [Cerasus spachiana 'Jindai-akebono'] B6 恒例の個展「桜」用の植物画として描きました。以前、国立劇場に桜を見に行ったときに家族が撮った写真を見て。神代植物園に原木があります。

5月 ベニバナトチノキ

ムクロジ科 [Aesculus × carnea] M12 石神井公園で2011.5.6に撮った写真を参考に、竹下通りの個展に出す植物の絵として、大きめの画用紙をプラ段ボール板に簡易水張りし、描きました。

7月 ガクアジサイ

アジサイ科 [Hydrangea macrophylla] F4 柳沢団地周辺 中心の多数の小花は正確に描こうとせず、

蕾の小球、開いた花の雄蕊の細い線や花びらの特徴、色を筆先で点や線で描きました。隙間が多過ぎたり、ベタ塗り、同じ形を並べたりに注意。

7月 サクランボ (セイヨウミザクラ)

バラ科 [Prunus avium] F4 植物画教室を石神井ベースで再開した初日の絵です。サクランボの季節も終わりであり痛んだものが混ざりましたが、題材としては大丈夫。葉の緑を入れるため、千川上水から山桜の葉を3枝ほど採取していききました。

8月 カンナ

カンナ科 [Canna spp.] F8 柳沢中学で撮っていた写真を参考に、竹下通りの個展に出す大きめな絵として描きました。夏によく見かけるのに、なかなか描くにいたらなかった花ですが、ようやく実現。

9月 カラスウリの花

ウリ科 [Trichosanthes cucumeroides] 2年前と同じ柳沢団地近くの場所で、LED懐中電灯2個で照らし撮影。レース編みのような糸をマスキング液でカバーし暗い色を塗り、乾燥後に剥がし、細筆で仕上げ。蕾、咲きかけの花も描き込んでみました。

10月 トウゴマ

トウダイグサ科 [Ricinus communis] F8 東伏見教室に生徒さんが持参され初めて描いた題材。Wikipediaでは唐胡麻、蓖麻。種子からとる油はひまし油（蓖麻子油）として広く使われており、また種にはリシン (ricin) という毒タンパク質があると。

11月 イロハカエデ

カエデ科 [Acer palmatum] F3 団地内 グリーンテール教室で描きました。建て替え前の団地には、紅葉の時期に見事な色のイロハカエデを、あちこちで見ることができました。

12月 ゲンノショウコ

フウロソウ科 [Geranium thunbergii] F3 自然観察会で、種を飛ばす面白い仕掛けを教わり、持ち帰り描きました。幼い頃、祖母に煎じて飲まされた苦さとともに名前は記憶しています。名は「実際に効く証拠」の意味で、漢字では「現（験）の証拠」。